

2013  
県人勸

# 月例給・一時金とともに据え置き ＝ 現給保障の廃止「2015年3月末」と言及 ＝

# 岩手県職労

月2回刊=1398号  
2013年10月15日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジロー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む



10.1県人事委員長交渉に臨む地公共闘交渉団



熊谷隆司県人事委員長(左から2人目)

## 人事委員会勧告によらない給与削減に警鐘

県人事委員会は10月10日、知事及び県議会議長に対して、別記内容の報告を行った。報告では公民較差が小さいとされ、2008年以来5年ぶりに月例給・一時金ともに改定が見送られた。(2008年は医師の初任給のみ改定勧告)。また、人事院勧告制度によらない給与削減に対しては、「本報告に基づく民間

準拠による給与水準が確保される必要がある」と県当局へ警鐘を鳴らした。県地方公務員共闘会議(議長・豊巻浩也岩教組委員長)は、マイナス勧告が想定される情勢の中、10月1日には約200人の県庁内座り込みでの交渉支援行動を背景に交渉を行い、賃金水準の維持改善と現給保障の継続を求めてきた。現

給保障については、勧告でなく報告に止めたが「2015年3月末での廃止を検討する」とされた。厳しい情勢のなかで一定の内容を引き出したものの、職場と生活の困難さには変わりはない。引き続き確定闘争においても、支部・分会の闘争態勢を継続・強化しながら「現給保障」の継続、昨年から

の継続である「50歳台後半

層の昇給抑制阻止」をはじめとする課題の前進と改善に全力をあげて取り組みを進めていかなければならない。

### 【報告のポイント】

- ① 月例給：改定見送り 較差：0.03%・119円（民間369,538円、職員369,419円）  
※ 現給保障を除く給料表水準だと、0.42%（1,528円）民間が高い
- ② 一時金：改定見送り 較差：なし（民間3.90月、職員現行3.90月）
- ③ 給与構造改革における経過措置の廃止：報告に止めるも廃止時期に言及  
「本県における経過措置適用者の割合の推移を考慮し、2015年3月末での廃止が適当」
- ④ 高齢期の雇用問題：「昨年の報告（定年退職する職員が希望する場合に再任用職員として採用）に加え、国、他県の動向等にも留意しながら検討」
- ⑤ 超過勤務の縮減：「復興業務のため依然として高い水準にある公所も見られる。管理者のリーダーシップや職員の相互理解の下での縮減に期待」
- ⑥ 両立支援の推進：「人事院が意見の申出を行った配偶者帯同休業制度について、国の関係法令の制定や他県の動向に留意しながら検討」
- ⑦ 心身の健康管理：「管理監督者による職場環境の改善や職員の不調の早期発見等を支援する重点的かつ能動的な取り組みを継続するよう期待」
- ⑧ 給与制度の総合的見直し：「国の動向を注視しながら、研究を行っていく」
- ⑨ 給与減額支給措置：「職員の士気等に及ぼす影響を憂慮している。(中略)本報告に基づく民間準拠による給与水準が確保される必要がある」(委員長談話)

## 「現給保障」「50歳台後半層の昇給抑制阻止」など 課題の前進と改善は 行動から!!

気象庁は9月に「2013年夏(6～8月)の日本の極端な天候について」を発表し、今年の夏の異常気象について統計の集計と分析結果を発表した。その結果によると、西日本の平均気温は過去最高(+1.2℃)となり、東日本でも歴代3位(+0.7℃)となった。高知県四万十市で日本の最高気温を更新(8月12日、41度)したニュースは記憶に新しい▼大雨について、東北地方の7月の降雨量は平年比182%とこれも過去最高となった。8月6日には盛岡市、紫波町、雫石町、矢巾町などで「過去に経験したことがない豪雨」となり、甚大な被害が発生した。7月の豪雨、9月の台風と併せ、今もなお災害対応に追われている状況である▼東日本大震災以降、防災の考え方にも変化がある。防潮堤や護岸工などのハード対策で抑え込むのではなく、積極的な避難を促すソフト対策での防災を重視するようになってきている。釜石市の「津波でんごん」に習い、まず命を守ることを重視している▼災害が起きるたびに職員の業務は過密になる。災害対策も大切だが、業務に携わる職員の生命も大事である。管理監督者へ、そうした視点を求めたい。

退職後のいよいよ  
退職時に決めたい  
在職中に掛金を積み立てて退職時に「年金」「医療」「遺族」の3つの給付を必要に応じて組み合わせる事ができる制度です。

じちろうの長期共済  
自治労共済本部  
※詳しくは所属する組合まで



県庁11Fフロアに座り込みを行ない交渉を支援



県公会堂での決起集会

第五世代

地方財源の確保を求める「家族署名」15618筆 総務大臣に

### 地元選出 国会議員通じ

# 政府に提出

人事院勧告によらない給与削減の大きな要因となった、政府による地方への不当介入を一度と行わせないための取り組みとして、6月から8月にかけて地公共闘が取り組んだ「地方財源の確保を求める『家族署名』」15618筆分の署名を地元選出国會議員の主濱了参議院議員を通じて政府に提出した。

7月からの給与削減は、政府が、今年度予算の編成

にあたって、地方公務員の給与相当額分の地方交付税

を減額したことに端を発している。県地公共闘はこうした現実を踏まえ、自らの政策目的のために公務員給与の削減を強制する安倍政権の不当性を追求するとともに、東日本大震災からの一日も早い復興を遂げるためにも、地方自治の本旨に則った財源確保を政府に求める「家族署名」に取り組んできた。

こうしたなか、地公共闘の豊巻議長は10月9日の夕方、地元選出国會議員の主濱了参議院議員に対し、15618筆(県職労分3777筆)にのぼる新藤総務

大臣あての署名を手渡し「地方自治の本旨に則った地方財源の確実な確保をお願いしたい」と要請した。これに対し、主濱議員は「私の所属する総務委員会においても取り上げて発言

していく」と述べ、政府への意見反映とあわせ、組合員の声を確実に政府に届けることを約束した。自民党の「J-ファイル2013」では、今後も公務員人件費削減が明記されており、これを受けた安倍政権も同様の姿勢にあることから、県職労は、地方自治への不当な介入を許さず、引き続き政府の姿勢を追求しながら、真の地方自治を確立していくために取り組みを強化していく。



豊巻議長(左)と小田嶋事務局長(中)から主濱参議院議員(右)へ署名を手渡す

## 第34回自治労東北地連女性集会

◎11月16日(土) 14時から

17日(日) 12時まで

◎盛岡市つなぎ「ホテル大観」

健康で人間らしく働き続けるために

東北の仲間と交流してみませんか!!



県本部大会に参加した県職労代議員

### 自治労県本部第44回定期大会

### 当面の闘争方針など賛成多数で決定

自治労岩手県本部第44回定期大会は9月27日・28日の日程で花巻温泉・千秋閣で開かれた。大会には代議員・傍聴者あわせて165人が参加、多くの議論が交わされ2014年度運動方針、当面の闘争方針などを賛成多数で決定した。

発言では、地方交付税削減による不当な賃金削減に

### 盛岡支部・新体制を確立

盛岡支部は10月11日、今年度の支部役員選挙の開票を行い候補者全員が信任され新執行体制を確立した。役職と氏名は次のとおり。

(敬称略)

- 支部長 鈴木 清紀(保健福祉環境部)
- 副支部長 千葉佐久男(産業技術短大)
- 副支部長 平 吉美智(県税部)
- 書記長 佐々木知正(林務部)
- 書記次長 平賀 昌晃(農政部)
- 執行委員 伊藤 勝浩(農政改良センター)
- 同 熊谷 勝文(県税部)



花束を手に喜びの千葉さん

### 一関市議選 千葉信吉さん初当選

任期満了に伴う一関市議会議員選挙は、9月29日投開票が行われ県職労が推薦した千葉信吉さんが147

ご支援をいただいた組合員をはじめ多くの職員の皆さんありがとうございました。

### みんなの署名で支援しよう!

### 「原発事故子ども・被災者支援法」

- ☆具体的施策の実現に向けて
  - ・対象範囲を縮小させない
  - ・健康・暮らしの保障・補償
- ☆時効に関する「特別」の立法措置
  - ・損害の内容によっては来年3月10日時効になる可能性があります。

ポイント -11月25日まで集めます!-

避難する人も福島で生活する人も福島に戻る人も、国が同等に支援するための法律です。

法律を確かなものにするために署名が必要です。ご協力をお願いします。

## 最高保障額がパワーアップ!

住宅400口 + 家財200口 でご加入の場合

風水害などの場合 最高保障額 4,200万円

地震などの場合 最高保障額 1,800万円

### 自然災害共済

強い味方! 大型タイプ

自然災害共済と一緒にご加入ください!

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会 自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

詳しくは所属する組合にお問い合わせください。